

## 「施策」総括票

施策展開	4-(1)-ア	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進
施策	①ウチナーネットワークの継承・拡大	321頁
対応する 主な課題	<p>○現在39万人を越える海外在住の県系人が国際交流・協力の架け橋として大きな役割をはたしているが、世代交代が進むなかで、ウチナーンチュとしての意識、アイデンティティーの低下が懸念されており、世界のウチナーンチュのネットワーク継承や次世代の担い手の育成に取り組む必要がある。</p> <p>○歴史的・地理的特性により培われた沖縄の発展可能性は、諸外国・地域との交流と連携を深めながらともに発展していくという取組の中で特に発揮されるものであり、観光・学術・文化・経済など様々な分野における国際交流を強化し、交流の架け橋となる人材の育成や人的ネットワークの構築等により交流基盤としてのウチナーネットワークを強化・拡充することが必要不可欠である。</p>	
関係部等	知事公室	

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
1	次世代ウチナーネットワーク育成事業	33,576	順調	○県内学生の派遣と交流及び平成24年7月25日～29日にブラジルで世界若者ウチナーンチュ大会を開催した。(1、4)
2	国内外の県人会との連携	1,818	順調	○海外県人会が行う、移民記念式典や県人会創立記念式典に知事等を派遣し、県人会及び県系人を激励するとともに、相互の発展のため沖縄県と移住先国との交流促進を図った。(2)
3	新ウチナー民間大使の認証	435	順調	○沖縄の文化、芸能、自然等、沖縄のPR活動を行う者を、本県と海外との交流の架け橋役として「新ウチナー民間大使」(1名)に認証した。(3)
4	世界若者ウチナーンチュ連合会との連携	—	順調	

様式2(施策)

Ⅱ 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

		成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1		次世代ウチナーネットワーク参加青少年数(累計)	1,176人 (23年)	1,221人 (24年)	1,441人	45人	—
	状況説明	事業の定着化及び県民のグローバルな意識の高まりにより、年々参加者数は安定して増加している。					
		成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
2		次世代ウチナーネットワーク参加者とのネットワークの継続	14.8% (23年)	18.9% (24年)	35%	4.1ポイント	—
	状況説明	ウチナージュニアスタディー事業、ウチナーンチュ子弟留学生受入事業、海邦養秀ネットワーク構築事業の3つの事業への参加を通して毎年県とネットワークを継続している者の割合は増えている。					

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代ウチナーネットワーク育成事業は、事業への参加者数が順調に推移しているため次世代の担い手の育成は図られているが、事業終了後も参加者とのネットワークを継続していく仕組み作りが必要である。</li> <li>・世界若者ウチナーンチュ大会は、沖縄や世界の若い県系人の自主的な運営による大会であるため、県としては若い県系人の取組を支援する一方で、彼らの自主性を尊重する必要がある。</li> <li>・県系移民1世の高齢化によりネットワークの希薄化が懸念され、今後2世、3世へどう繋げていくかを考慮し、次世代の担い手育成に取り組む必要がある。</li> </ul>
--

## 様式2(施策)

### IV 外部環境の分析 (Check)

- ・ブラジルやアメリカなど県系人の多い地域とそれ以外の地域での取組に差がある。
- ・県系移民1世の高齢化が進んでおり連絡が取りづらい状況があるため、次世代の担い手を育成し、事業終了後もネットワークを継続する仕組みを構築するなど、ウチナーネットワークの継承・拡大に繋げる必要がある。

### V 施策の推進戦略案 (Action)

- ・事業終了後も参加者が定期的に相互交流する場を設けて、一過性のものに終わることのないようネットワークの継続を図る。
- ・世界若者ウチナンチュ大会については、県等から自立して大会を開催したいという主催者側の意向を尊重し、現時点では開催地県人会への仲介、運営の助言、大会後援など側面的な支援を中心に行う。
- ・ウチナンチュという意識が継承されるよう沖縄の文化、芸能、歴史を伝え、県人会式典や次世代交流事業を行うなど、若い世代の相互交流を深める。
- ・キャラバンを行う等、県系人の多い地域とそれ以外の地域での取組の差を縮小させる。
- ・現地における県系人の状況や鍵を握る人物を把握するため、海外における情報収集に努める。